

件名	令和3年度 第2回 福井市障がい者自立支援協議会（全体会）報告書		
日時	令和4年2月17日（水）	14:00 ～ 15:30	会場 第8会議室(A) <small>オンライン併用開催</small>
次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 （1）各専門部会・連絡会の取組について 資料1 （2）地域生活支援拠点事業について 資料2 （3）日中サービス支援型共同生活援助事業所の実施状況報告・評価について 資料3 4 その他 5 閉会		
議事内容等	3 （1）各専門部会・連絡会の取組について 各専門部会長、連絡会代表より資料1を用いて取組内容の結果および成果報告を行う。 （質疑応答） なし （2）地域生活支援拠点事業について 資料2（拠点事業の説明、来年度からの変更点、委員等からの意見等）について事務局より説明 （質疑応答） Q 多機能拠点整備型から面的整備型に変更し、内容が大幅に変わるが、来年度から実施する必要があるのか確認したい。反対意見が多数あるなか、行政だけの意見で進めていくことを危惧している。提案として事業所からの意見を踏まえ、一年間協議する期間を設けてもいいのではないか。 A 来年度の予算上の都合もあるため、面的整備型での拠点登録を勧めて、できる限り対応していきたいと考えている。 Q 他の地域の事例を確認すると、例えば緊急時の受け入れ・対応について、相談員の方たちが本当に対応できるのかという意見があるが、登録を前提に考えて対応すると、サービスを受けていない方についての受入が困難である。受け入れ事業所も相談員も事前にある程度の情報が必要であり、そのための工夫が必要である。 市の方が、半年ほどかけて考えた構想について今回初めて意見を聴取したと思うが、ここに出ている意見について真摯に考えて取り組んでいただきたい。 A 今回頂いた意見を検証の場においても活用したいと考えている。 Q 委員からは来年度からの変更について、提案があったが、市としてはそのまま進めていく予定なのか。 A 今の予定としては会議終了後に事業所の受け付けを開始し、登録状況を踏まえ、事業所に働きかけをしていきたいと考えている。 Q もう1年待った方が良く意見があったが、来年度より実施するとの見解でいいのか。		

A そのように考えている。

Q 検証はいつ、誰がやるのか。どのように開示して意見を集めるのか。しっかり検証して制度として動く仕組みを作る必要があると考える。

A 現時点では、検証についての協議（仕組み、構成員、時期等）は行っていない。構成員としては、相談支援専門員、サービスを提供した実施事業所、医療機関等のその他の関係機関などを想定しているが、実施時期は未定である。

Q 多機能拠点整備型では全ての障がい種別はカバーしきれないとは感じている。一方、市が示しているイメージ図の中に自立支援協議会が含まれていないが、自立支援協議会の役割、位置づけはどのように考えているのか。

A 自立支援協議会に意見聴取することの記載はないが、本市としては広く関係機関の方から意見を聞く必要があると感じたため、このような形を取らせて頂いた。

また、さきほどの検証についてであるが、本事業については福井市が実施する事業であるため、福祉基本計画への意見については専門分科会にて年1回協議の場を設けており、そちらの方で検証したいと考えている。

(3) 日中サービス支援型共同生活援助事業所の実施状況報告・評価について

ふくい福祉振興会より資料3を用いて実施状況を報告。

(質疑応答) ※Aはふくい福祉振興会が回答

Q 日中の過ごし方について資料によって午前・午後の過ごし方が違うのは各個人によって違うという認識で良いのか。

A そのとおりで、個別で対応している。

Q モニタリングの実施方法について、標準期間は3ヶ月だったかと思うが、1ヶ月の方があるなど、利用者の方によって違うということか。

A 利用者の方の状況に応じてそのような形を取っている。

Q 日中の過ごし方について個別的な部分（障がい種別による対応の違いなど）の説明がほしい。また、国が想定している利用者の年齢層より広いように感じる。特に20代、30代の方に対してはここが終の住処にならないよう次のステップの部分についても考えていただきたい。

A 次回からはその部分についても報告したい。

Q 個別支援の部分で、支援員との個別の面談を行っているのか教えてほしい。また、食事の際に、個人の嗜好調査をしているのかも教えてほしい。

A 障がいの程度によって、個別で面談できる方もいれば、難しい方もいるが、面談については、行っている。食事に関しては、各利用者からご要望は頂いているが、その点に関しては事業所としても考えていきたいと思う。

Q 日中サービス支援型のGHから地域の生活介護やGHに地域移行されたケースがあるか教えてほしい。

A 一部の方は入居する前から通所していた施設に今でも通所している方はいる。他のGHに完全に移行された方はいない。

4 その他

令和4年度の自立支援協議会の予算について事務局より説明

(質疑応答)

Q 予算額を教えて貰えるのか。また、予算がついた際は部会ごとなのか、分けて使えるのか教えてほしい。

A 予算については部会ごとに必要経費として計上している。詳細な金額や内訳については確定次第、報告させていただきたいと考えている。